

株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領 株主確定日	11月30日
中間配当金受領 株主確定日	中間配当を行う場合は、5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.krs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

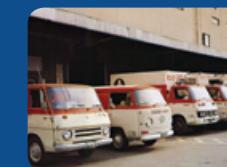
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	(手続書類のご請求方法) 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

KRS

株式会社キューソー流通システム



株式会社キューソー流通システム (証券コード：9369)

〒182-0026 東京都調布市小島町一丁目32番地2 京王調布小島町ビル
TEL 042-441-0711(代表) URL <http://www.krs.co.jp/>



第 50 期 年次報告書
2014年12月1日～2015年11月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社の第50期（2014年12月1日～2015年11月30日）の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

さて、当連結会計年度における食品物流業界は、燃料調達単価は下がりつつも、個人消費低迷による物量の減少や人手・車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、新グループ経営体制の確立による食品物流総合力ナンバーワンをめざすべく、中期経営計画（2013年度～2015年度）を推進してまいりました。最終年度となる2015年度は、「グループの総合力を發揮させ、競争に打ち勝つ次の挑戦」をしていく年として、ネットワークの構築、収益力の強化、成長分野へのシフト、運送機能の再構築に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業収益は1,535億41百万円（1.8%増）、営業利益は40億26百万円（50.7%増）、経常利益は40億4百万円（41.8%増）、当期純利益は21億9百万円（62.5%増）と前期比で増収増益という結果になりました。

期末配当金につきましては、2016年2月をもちまして創立50周年を迎えたことに感謝を込めまして、創立50周年記念配当2円を加え、1株当たり14円とさせていただきます。すでに中間配当金14円（記念配当2円、普通配当12円）を実施しておりますので、年間配当は1株当たり28円となります。

次期につきましても、国内景気は依然として不透明な状況が続くと見込まれ、当社グループを取り巻く環境はますます厳しくなるものと予想されますが、グループ総合力で業績向上をはかり、株主の皆様のご期待に応える所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年2月



代表取締役社長

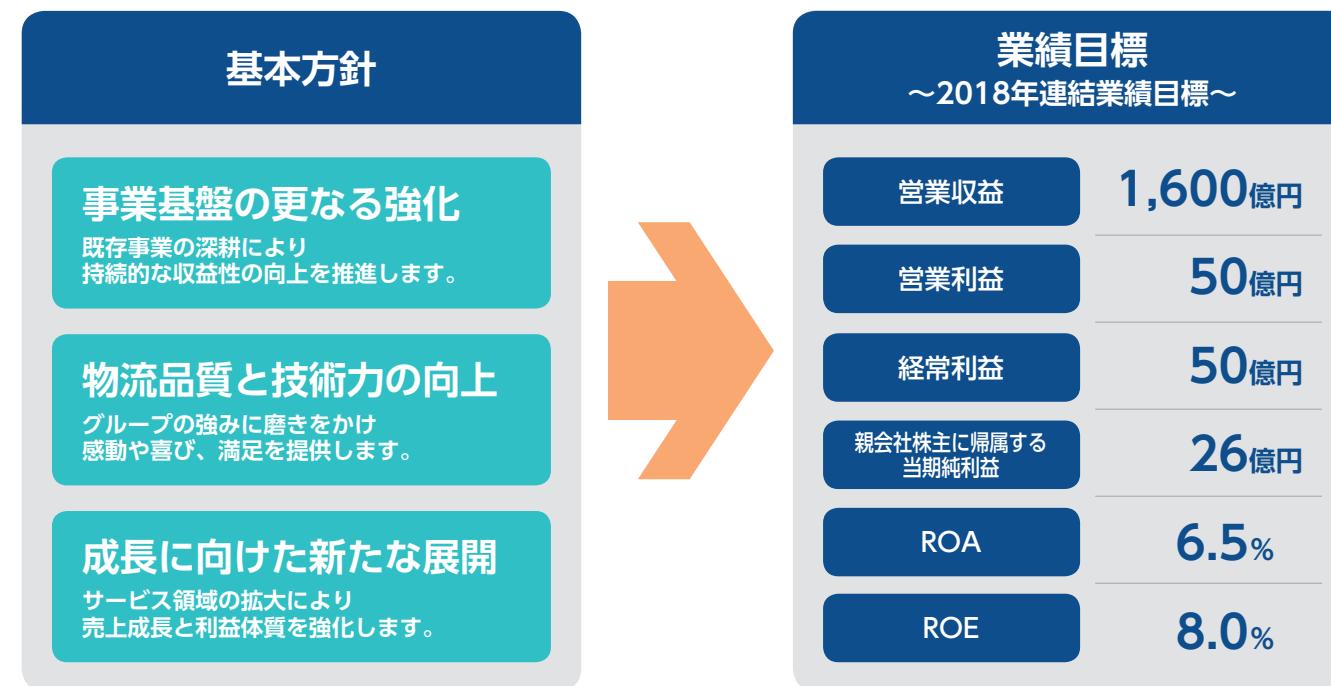
西尾秀明

Contents			
ごあいさつ	p.1	セグメント別の概況	p.6
2016-2018 中期経営計画	p.2	連結決算の概況	p.7
創立50周年特集	p.3	会社データ	p.9
全体的な概要	p.5		

グループ総合力を結集し食品物流をけん引します

～魅力ある人と技術でベストパートナーとなり環境と人にやさしい企業をめざします～

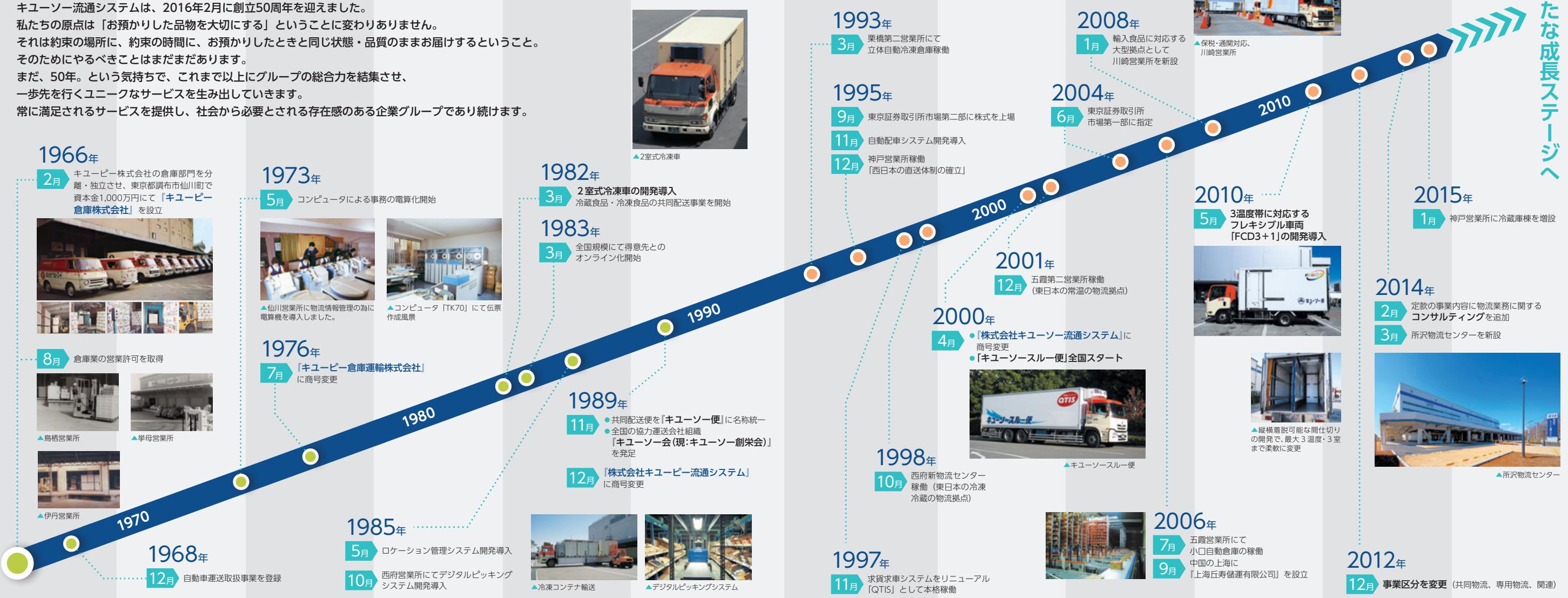
当社グループは、2015年12月1日から3カ年を対象とする中期経営計画を策定いたしました。食品物流業界の環境は、個人消費低迷による物量の減少や人手・車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい環境が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、新中期経営計画は、前中期経営計画で推進してきた構造改革を継続し、事業基盤を更に盤石にさせるとともに、グループの総合力で新たな成長ステージを実現させていく考えのもと策定いたしました。テーマは「グループ総合力を結集し食品物流をけん引します」とし、（1）事業基盤の更なる強化（2）物流品質と技術力の向上（3）成長に向けた新たな展開の3つを基本方針として進めてまいります。また、新中期経営計画では「魅力ある人と技術でベストパートナーとなり環境と人にやさしい企業をめざします」と副題を設けております。当社グループは、安全・安心を前提とした物流品質優先を実践し「量」だけでなく「質」でも業界をけん引する存在になることをめざしてまいります。



「創意工夫」を重ねながら、食品物流の領域を開拓してきました。

キューソー流通システムは、2016年2月に創立50周年を迎えました。私たちの原点は「お預かりした品物を大切にすること」に変わりありません。それは約束の場所に、約束の時間に、お預かりしたときと同じ状態・品質のままお届けするということ。そのためにやるべきことはまだまだあります。まだ、50年。という気持ちで、これまで以上にグループの総合力を結集させ、一歩先を行くユニークなサービスを生み出していきます。常に満足されるサービスを提供し、社会から必要とされる存在感のある企業グループであり続けます。

そして、新たな成長ステージへ



創立から開拓・高度成長期 (1966~1990)

拡大期から構造改革 (1991~2015)

当連結会計年度は、営業収益・利益ともに過去最高を更新いたしました。

▶ 営業収益（売上高）

食品メーカーなどを得意先とする共同物流事業の新規取引や既存取引の拡大およびコンビニエンスストアやチェーンストアなどの流通業を得意先とする専用物流事業の既存取引が拡大し増収となりました。

営業収益（売上高） 1,535億41百万円（前期比 1.8%増）

営業利益 40億26百万円（前期比 50.7%増）

▶ 営業利益

電気料金の高止まりや人手・車両不足にともなう物流コストは増加したものの、燃料調達単価の下落に加え、営業収益の増加による利益増や業務の標準化、運送・保管業務などの合理化改善が進捗しました。

経常利益 40億4百万円（前期比 41.8%増）

当期純利益 21億9百万円（前期比 62.5%増）

● 営業収益（売上高）



● 営業利益



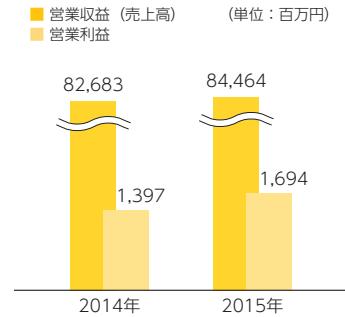
● 経常利益



● 当期純利益

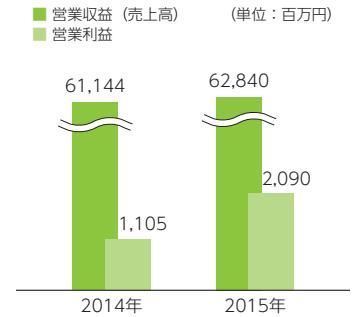


共同物流事業



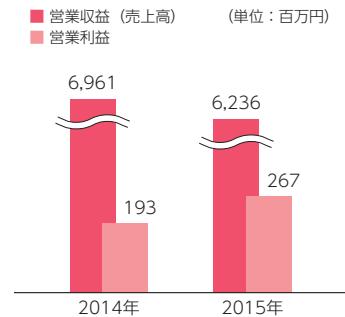
共同物流事業収益は、新規取引や既存取引の拡大などにより増収となりました。利益面は、人手・車両不足にともなう物流コスト増などの影響を受けたものの、営業収益の増加による利益増と業務の標準化、運送・保管業務の合理化改善などが進捗しました。

専用物流事業

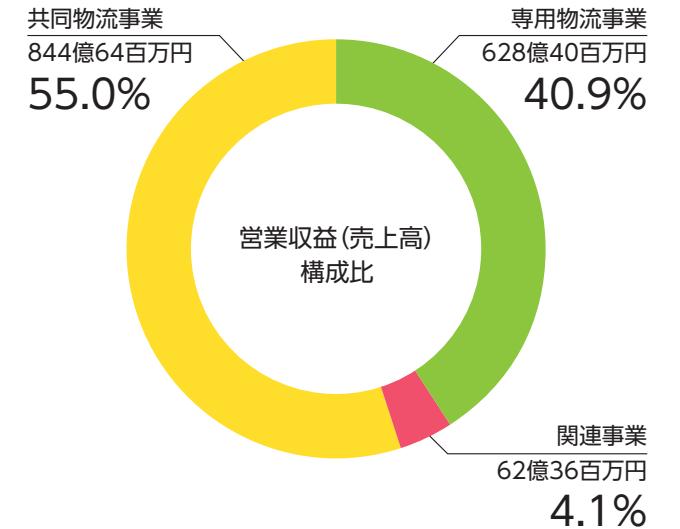


専用物流事業収益は、コンビニエンスストアやチェーンストアなどの既存取引拡大により増収となりました。利益面は、前年度に新設稼働したセンターの減価償却費等が増加したものの、燃料調達単価の下落や営業収益の増加による利益増により増益となりました。

関連事業



関連事業収益は、車両販売台数は増加したものの、燃料販売単価の下落により減収となりました。利益面は、メンテナンス業務の内製化など合理化改善が進捗しました。



連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	前連結会計年度 2014年11月30日現在	当連結会計年度 2015年11月30日現在
資産の部		
流動資産	24,579	23,623
固定資産	41,082	43,579
有形固定資産	33,584	35,575
無形固定資産	511	660
投資その他の資産	6,986	7,343
資産合計	65,661	67,203
負債の部		
流動負債	25,821	25,773
固定負債	10,278	9,980
負債合計	36,099	35,754
純資産の部		
株主資本	27,898	29,131
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	19,638	21,219
自己株式	△ 12	△ 360
その他の包括利益累計額	△ 60	371
その他有価証券評価差額金	464	668
繰延ヘッジ損益	△ 19	△ 19
為替換算調整勘定	120	145
退職給付に係る調整累計額	△ 626	△ 422
少数株主持分	1,723	1,945
純資産合計	29,561	31,448
負債純資産合計	65,661	67,203

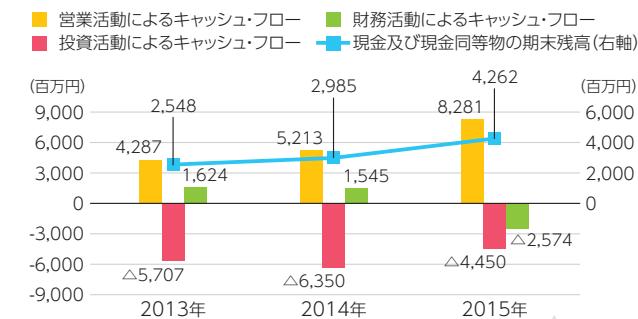
連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前連結会計年度 2013年12月1日から 2014年11月30日まで	当連結会計年度 2014年12月1日から 2015年11月30日まで
営業収益	150,789	153,541
営業原価	144,682	145,584
営業総利益	6,107	7,957
販売費及び一般管理費	3,435	3,931
営業利益	2,672	4,026
営業外収益	332	267
営業外費用	181	289
経常利益	2,823	4,004
特別利益	151	171
特別損失	75	175
税金等調整前当期純利益	2,900	3,999
法人税、住民税及び事業税	1,310	1,863
法人税等調整額	131	△ 204
少数株主利益	160	231
当期純利益	1,297	2,109
少数株主損益調整前当期純利益	1,458	2,340
その他の包括利益	201	444
その他有価証券評価差額金	166	214
繰延ヘッジ損益	△ 4	0
為替換算調整勘定	39	27
包括利益	1,659	2,784
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,486	2,541
少数株主に係る包括利益	173	243

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前連結会計年度 2013年12月1日から 2014年11月30日まで	当連結会計年度 2014年12月1日から 2015年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,213	8,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,350	△ 4,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,545	△ 2,574
現金及び現金同等物の換算差額	29	19
現金及び現金同等物の増減額	437	1,276
現金及び現金同等物の期首残高	2,548	2,985
現金及び現金同等物の期末残高	2,985	4,262

キャッシュ・フロー



営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ30億68百万円増加し、82億81百万円となりました。これは主に、仕入債務の増減額は減少したものの、売上債権の増減額の増加および税金等調整前当期純利益の増加によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ19億円減少し、44億50百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出は増加したものの、有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ41億20百万円増加し、25億74百万円（前年同期は15億45百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入による収入の減少および長期借入金返済による支出の増加によるものであります。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自 2014年12月1日 至 2015年11月30日)

(単位: 百万円)

	株 主 資 本					そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額					少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額		
当期首残高	4,063	4,209	19,638	△ 12	27,898	464	△ 19	120	△ 626	△ 60	1,723	29,561
会計方針の変更による累積的影響額			△ 215		△ 215							△ 215
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,063	4,209	19,423	△ 12	27,683	464	△ 19	120	△ 626	△ 60	1,723	29,346
当期変動額												
剰余金の配当			△ 313		△ 313							△ 313
当期純利益			2,109		2,109							2,109
自己株式の取得				△ 348	△ 348							△ 348
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						203	0	24	203	431	222	654
当期変動額合計	-	-	1,796	△ 348	1,447	203	0	24	203	431	222	2,102
当期末残高	4,063	4,209	21,219	△ 360	29,131	668	△ 19	145	△ 422	371	1,945	31,448

会社の概要

(2016年2月24日現在)

商号	株式会社キューソー流通システム
創立	1966年(昭和41年)2月1日
代表者	代表取締役社長 西尾秀明
本社	東京都調布市小島町一丁目32番地2 京王調布小島町ビル
資本金	40億6,311万円
従業員数	5,105名(連結)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 倉庫業 各種瓶缶詰類その他一般物品の包装、荷造ならびに配送等の引受業務 貨物利用運送事業 運送取次事業 貨物自動車運送事業 通関業 自動車および物流に係る車両機器、備品の販売ならびにリース業 自動車分解整備業 工業用、車両用各種燃料、油脂の販売 損害保険代理業 物流情報の販売業および物流業務に関するコンサルティング 生鮮食品、保存食品、加工食品等の各種食料品および日用雑貨品の販売 不動産賃貸業 労働者派遣事業 前各号に付帯する一切の業務

取締役および監査役

(2016年2月24日現在)

代表取締役社長	西尾 秀明	取締役	岡本 信明
取締役	角至 貢	取締役	篠原 真人
取締役	笹島 朋有	常勤監査役	閑田 利之
取締役	安納 一樹	常勤監査役	谷本 尚基
取締役	佐々木 健二	監査役	南 敏文
取締役	木村 孝寛	監査役	小泉 正明
取締役	長尾 隆史	監査役	渡部 幹

(注) 1. 長尾隆史氏、岡本信明氏は社外取締役であります。
2. 南敏文氏、小泉正明氏、渡部幹氏は社外監査役であります。

グループ会社

キューソーティス株式会社	貨物運送事業
株式会社エスワイプロモーション	貨物運送事業、海上運送事業、倉庫業、物品販売業、通関業
キューソーサービス株式会社	自動車整備業、施設管理請負業、電気工事業、保険代理店業
株式会社キューソーエルプラン	荷役請負業
ケイ物流株式会社	大手CVSの物流センターオペレーション業務および運送事業
株式会社キューピー流通システム	事務代行業、情報開発請負業
エム物流株式会社	大手CVSの物流センターオペレーション業務および運送事業
株式会社サンエー物流	大手スーパーの首都圏物流センターオペレーション業務および運送事業
株式会社サンファミリー	大手CVSの物流センターオペレーション業務および運送事業

大阪サンエー物流株式会社	大手CVSの物流センターオペレーション業務および運送事業
--------------	------------------------------

ワイシステム株式会社	大手スーパーの関西圏物流センターオペレーション業務および運送事業
------------	----------------------------------

上海丘寿儲運有限公司	上海市内を中心とした低温保管配送事業、タンクローリー事業
------------	------------------------------

フードクオリティ・ロジスティクス株式会社	大手CVSの物流センターオペレーション業務および運送事業
----------------------	------------------------------

株式の状況

(2015年11月30日現在)

発行可能株式総数	36,600,000株
発行済株式の総数	12,677,900株
株主数	10,485名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キューピー株式会社	5,634	45.33
株式会社中島董商店	737	5.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	451	3.63
キューソー持株会	298	2.40
キューソー流通システムグループ従業員持株会	202	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	197	1.59
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	146	1.18
株式会社三井住友銀行	145	1.17
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	133	1.08
株式会社みずほ銀行	117	0.94

(注) 1. 上記のほか、当社は自己株式249千株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式(249,240株)を控除して計算しております。

ホームページのご紹介

<http://www.krs.co.jp/>



当社ホームページにて、IR情報などを掲載しております。ぜひご覧ください。



トップページ



IR情報

株主優待制度のご案内



11月30日現在の株主名簿に記録された株主様に対し、右記の基準により年1回、ジェフグルメカード(全国共通お食事券)をご送付いたします。

(1) 贈呈基準

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上 500株未満	1,000円相当のジェフグルメカード
500株以上 1,000株未満	3,000円相当のジェフグルメカード
1,000株以上	5,000円相当のジェフグルメカード

(2) 送付時期

2月開催の定時株主総会の決議ご通知に同封してご送付いたします。